

新発売

給水・給湯用高耐候被覆架橋二層ポリエチレン管

オユポリ[®]チューブUP

屋外配管にも使える
架橋ポリエチレン管

耐候性に優れた二層仕様の架橋ポリエチレン管と高耐候保温材で構成されています。

高耐候

NEW オユポリチューブUP

日本水道協会認証登録品 管F-24

品番	呼び径	架橋ポリエチレンパイプ			被覆材		長さ (m)	設計価格	
		外径(mm)	内径(mm)	厚さ(mm)	厚み(mm)	ライン色		円/m	円/ロール
PXL-10-550-S	10	13.0	9.8	1.6	5	ラインなし	50	780	43,000
PXL-10-550-RE-S						レッド			
PXL-13-550-S	13	17.0	12.8	2.1	5	ラインなし	50	800	44,000
PXL-13-550-RE-S						レッド			
PXL-16-550-S	16	21.5	16.2	2.65	5	ラインなし	50	1,150	63,500
PXL-16-550-RE-S						レッド			
PXL-20-550-S	20	27.0	20.5	3.25	5	ラインなし	50	1,330	73,500
PXL-20-550-RE-S						レッド			
PXLN-10-1050-S	10	13.0	9.8	1.6	10	ラインなし	50	1,080	59,500
PXLN-10-1050-RE-S						レッド			
PXLN-13-1050-S	13	17.0	12.8	2.1	10	ラインなし	50	1,220	67,500
PXLN-13-1050-RE-S						レッド			
PXLN-16-1050-S	16	21.5	16.2	2.65	10	ラインなし	50	1,680	92,500
PXLN-16-1050-RE-S						レッド			
PXLN-20-1050-S	20	27.0	20.5	3.25	10	ラインなし	50	1,960	108,000
PXLN-20-1050-RE-S						レッド			

※使用される継手につきましては、最寄りの営業所にお問い合わせ下さい。
注)オユポリUPはプラスチック管ですから、有機溶剤などの接触・浸透で、膨潤するなどして強度が弱くなる場合があります。
注)製品の被覆材には耐候性能を持たせていますが、被覆材の端面には耐候性がありませんので、必ず遮光テープを巻いて下さい。

架橋ポリエチレン
(耐候二層仕様)

高耐候保温材

用途

- ・給水・給湯用配管。
- ・エコキュート用貯湯タンクとヒートポンプの連結管。
- ・屋外給湯機への接続管。
- ・お風呂追い焚き用循環配管。
- ・太陽熱温水器用配管。

NEW オユポリチューブUP配管パック

オユポリチューブUP・ワンタッチユニオン継手・継手用保温材を施工に必要な数だけセットした配管パックです。

架橋ポリエチレン
(耐候二層仕様)

高耐候保温材

品番	呼び径	①オユポリチューブUP			②保温材	③ユニオン継手	設計価格 (円/セット)
		保温厚(mm)	長さ(m)	入り数(本)	個	個	
PXLN-102P	10	10	2	2	4	4	22,800
PXLN-103P	10	10	3	2	4	4	24,000
PXLN-105P	10	10	5	2	4	4	29,100
PXLN-1025P	10	10	25	1	8	8	46,500
PXLN-132P	13	10	2	2	4	4	24,100
PXLN-133P	13	10	3	2	4	4	25,500
PXLN-135P	13	10	5	2	4	4	30,500
PXLN-1325P	13	10	25	1	8	8	49,000

注)オユポリUPはプラスチック管ですから、有機溶剤などの接触・浸透で、膨潤するなどして強度が弱くなる場合があります。
注)製品の被覆材には耐候性能を持たせていますが、被覆材の端面には耐候性がありませんので、必ず遮光テープを巻いて下さい。

〈セット内容〉



オユポリチューブUP・ワンタッチユニオン継手・継手用保温材を施工に必要な数だけセットにした配管パックです。

※パイプ呼び径10、保温材厚10mm

耐候性試験評価

試験条件	試験結果(呼び径サイズ13)
耐候性試験 (アイスーパー) 10年相当 照射	外観上、割れ等の著しい劣化無し

※数値は試験値であり、保証値ではありません。

最高使用圧力と温度

使用温度(°C)	0~20	21~40	41~60	61~70	71~80	81~90	91~95
最高使用圧力(MPa)	1.50	1.25	0.95	0.85	0.75	0.70	0.65

10年相当の耐候性試験後の変化

破壊水圧(単位:MPa)

管種	試験前	試験後
オユポリチューブUP	5.0	5.0



注意

オユポリチューブUP 安全上のご注意

⚠ 設計・施工上の注意 ※以下の注意事項を遵守頂けなかった場合、漏水などの問題が発生しても当社で責任を負いかねます。

- (1) 95℃を超える温度の熱源機には使用しないでください。カタログ記載の「最高使用圧力と温度」の温度及び圧力の範囲内でお使い下さい。
- (2) 継手は、専用継手（他弊社指定継手）を使用して下さい。
- (3) 製品に直接、溶剤系のマジックインキや溶剤系粘着ビニルテープを使用しないで下さい。また、有機溶剤などに接触させないで下さい。
移行の恐れがある可塑剤等有害物を含有する化成品と接触使用はしないで下さい。強度低下の原因となり、早期劣化の原因となります。
- (4) 使用する際は、パイプの劣化が促進されないよう、配管を考慮した設計・施工をして下さい。
所定の曲げ半径以上を守り、配管を行って下さい。曲げ過ぎると座屈して管閉塞となったり、長期間の樹脂へのストレスによる寿命低下の原因となります。
エコキュート等の機器修理・交換時には配管も交換できるよう、将来の配管更新を考慮した設計・施工方法として下さい。
- (5) 設置後に何らかの都合で機器を移動させる場合は、パイプに無理な力が掛らぬようにご注意下さい。
無理な応力が掛りますと、耐久性が低下し、使用年数が少ない場合でも漏水に至る可能性があります。
- (6) 高耐候保温材でも端面は耐候性がありませんので、必ず遮光テープを巻いて下さい。
また、配管は屋外での使用は可能ですが、表面が黒色の為、直射日光で吸熱し部分的に高温になる場合があります。
流体温度が低くても、使用圧力によっては破裂に至る恐れがありますので、カタログ記載の「最高使用圧力と温度」は遵守してください。
直射日光が当たる場合は、その点を注意の上、配管設計をして下さい。
- (7) 開封時に刃物を使用しないで下さい。保温材を切除する際にカッターナイフなどの刃物を使用する場合はパイプ本体に刃を当てないようにして下さい。
- (8) 接続部は熱ロスを防止する為、パイプ・継手共に保温処理を行ってください。
- (9) 屋根裏等で環境温度の上昇が予想される部位の配管に使用する場合は、圧力上昇で管の破損や機器にダメージを与える場合がありますので、膨張弁や
逃し弁等の設置を検討して下さい。
- (10) 防火区画を貫通する場合は、法令上の定めを考慮する等適切な処理を施して下さい。
- (11) 設定条件、使用条件、設置環境を、よくご確認の上、使用配管や器具を選定下さい。
- (12) 地震などにより発生する大きな変位を吸収することを目的とした部位には使用できません。
地震や風水害などの天災や、火災などの不可抗力によりダメージを受けた場合や、配管の凍結などにより、管が膨張して管の厚みが薄くなったり変形
した場合でのご使用継続は漏水の原因となりますので、配管の更新を行うようにして下さい。
- (13) 事前にエコキュートなどの機器メーカーにお問い合わせ頂き、適正な推奨管種であることを確認した上で、設計基準、施工基準に従いご使用下さい。
- (14) 寒冷地で凍結防止の為に、ヒーター線を巻き付ける際は、ヒーター線の被覆材に可塑剤など製品を劣化させる成分が無いものを選定下さい。
また、ヒーター自体が経年劣化し異常発熱していないか定期的に点検をして問題無い事を確認下さい。
設置・点検・確認方法は、ヒーターメーカーに確認して下さい。
- (15) 保温材の中に水が溜まるような配管をしないでください（U字配管など）。
やむを得ずそのような配管する場合は保温材の中に水が溜まらないように処理をして下さい。水が溜まっていると保温効果が低下します。

⚠ 保管及び運搬荷扱い上の注意

- (1) ポリ袋梱包製品の保管は平面に横積みとし、段積みは 6段 以下として下さい。
- (2) トラックの荷台などから落下、放り投げや引きずったりなど製品に衝撃を与えないで下さい。
寿命が短くなったり、規定水圧以下での破裂や、漏水事故の原因になる事があります。
また、運搬時などには、荷台の角などでダメージを受けぬ様に緩衝材などで保護して下さい。
- (3) 保管の際は枕木やロープなどで締め付けなど、製品に局部荷重の掛る様な保管はしないで下さい。
- (4) 直射日光の当たる炎天下や、雨・水濡れする場所及び極寒の場所に放置せず屋内で保管して下さい。
- (5) 火気厳禁：火災の危険だけでなく、製品の変形や劣化の原因となります。
- (6) 子供の手が届かない場所に保管して下さい。

株式会社 **イノアック住環境**

<https://www.inoac-juukan.co.jp>

お客様品質相談室 ☎0120-343-718

名古屋本社 〒456-0068 愛知県名古屋市長久区大塚四丁目9番27号（イノアック日比野ビル2F）

東京本部 〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号（大崎ウエストシティビル4F）

北海道統括営業所 TEL.011-851-7190 東北統括営業所 TEL.022-212-6156 関東統括営業所 TEL.03-6679-2392

中部統括営業所 TEL.052-581-1077 関西統括営業所 TEL.06-7657-7990 広島営業所 TEL.082-535-4770

九州統括営業所 TEL.092-431-8321 沖縄営業所 TEL.098-921-0181

●本チラシの記載内容は2024年4月現在のものです。記載内容の仕様は予告なく変更する場合がございます。